

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11082	2	後期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	基礎看護援助方法Ⅳ (Basic Evidence Based Practice Ⅳ)				
担当教員名	○伊東美奈子/横山美樹/島田多佳子 末永由理/中山純果/高野海哉/嶋澤奈津子				
授業の概要及び到達目標					
<p>授業概要</p> <p>本科目では、基礎看護援助方法Ⅰ～Ⅲに基づき、健康が障害された対象の個別的な状態に応じて身体と生活の観察を行い、対象の日常生活を援助する技術を適切に選択し、実施、評価する方法を理解する。この際、並行して開講される各援助論での学習と関連させ、知識の統合と活用方法についても理解する。さらに、看護援助に不可欠なチーム活動のための適切な情報の伝達についても理解し、適切な伝達方法を身に着けることをめざす。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> クリティカルシンキングⅡの学習内容をもとに、健康が障害された対象の個別的な状態に応じた情報収集・フィジカルイグザミネーションをふまえ包括的アセスメントができる。 クリティカルシンキングⅡの学習内容をもとに、包括的アセスメントの結果を活かして、焦点的アセスメント・看護診断ができる。 クリティカルシンキングⅡの学習内容をもとに、標準看護計画から対象の状況に応じた日常生活援助技術を選択し、対象に応じた方法に修正・変更することで、対象に応じた援助の根拠や留意点を説明することができる。 対象の状況に応じた日常生活援助を実施し、評価することができる。 チーム医療・協働に必要な、看護実践における適切な情報の収集および伝達方法を説明することができる。 					
準備学習等					
<p>本科目は、事前学習(個人ワーク)した内容をグループで共有し学習を発展させていく「グループワーク」を中心にして展開していく。そのため、提示された事前学習(2時間程度)に必ず取り組んだ上でグループワークに出席し、グループに貢献することを期待する。</p>					
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 授業への参加状況：10% 事前学習(個人ワーク)の内容：55% グループワークの成果物：25% 実技演習への取り組み状況：10% 				
テキスト	<p>「クリティカルシンキングⅡ【看護過程】授業資料」</p> <p>※「NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018-2020 原書第11版」(T.ヘザー・ハードマン, 上鶴茂美原書編集(2018)：医学書院)</p>				

	<p>※「基準看護計画 第3版—臨床でよく出会う看護診断と潜在的合併症」(矢田昭子, 秦美恵子編(2016): 照林社)</p> <p>※「はじめてのフィジカルアセスメント」(横山美樹(2009): メヂカルフレンド社)</p> <p>※「基礎看護技術—看護過程のなかで技術を理解する 改定第3版」(香春知永・齋藤やよい編(2018): 南江堂)</p>
参考図書	必要時、提示する。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を参照。なお、本科目は、基礎看護援助実習Ⅱへの導入を兼ねる。 ・「履修案内」で単位の認定要件を確認の上、出欠管理は自己の責任において行うこと。なお、20分以上の遅刻は欠席とみなす(交通機関の遅延証明の有無に関わらず欠席とする)。 ・事前学習(個人ワーク)、グループワークの成果に対するフィードバックは、授業等を通じて適宜行う。 ・オフィスアワーは、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項を参照。
授 業 計 画	
<p>第1回：オリエンテーション、看護過程：アセスメント、看護診断/講義(伊東)</p> <p>第2回：看護過程：情報収集/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第3回：看護過程：情報の解釈・分析・統合/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第4回：看護過程：情報の解釈・分析・統合/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第5回：包括的アセスメント、優先順位の決定/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第6回：包括的アセスメント、優先順位の決定/演習(伊東/横山/島田) これまでのグループワークの成果を発表する。</p> <p>第7回：看護過程：看護診断、看護計画の立案、実施、評価/講義(伊東)</p> <p>第8回：焦点的アセスメント、看護診断、看護計画の立案/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第9回：焦点的アセスメント、看護診断、看護計画の立案/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第10回：行動計画立案/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第11回：行動計画実施/演習(伊東/横山/島田/末永/中山/高野/嶋澤) グループで立案した行動計画に基づき、看護活動を実施する。</p> <p>第12回：行動計画実施/演習(伊東/横山/島田/末永/中山/高野/嶋澤) グループで立案した行動計画に基づき、看護活動を実施する。</p> <p>第13回：評価/演習(伊東/横山/島田) 各自の事前学習(個人ワーク)についてグループワークを行い、まとめる。</p> <p>第14回：看護における情報の取り扱い：情報の収集/講義・演習(末永)</p> <p>第15回：看護における情報の取り扱い：情報の伝達/講義・演習(嶋澤)</p> <p>*授業の進捗状況により変更する場合があります。</p>	